



平成 26 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 関西アーバン銀行
 代表者名 頭 取 北 幸二
 (コード：8545 東証第一部)
 問合せ先 財務企画部長 山崎 康孝
 電話番号 06-6281-7000 (代表)

平成 26 年 3 月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 11 月 11 日に公表した平成 26 年 3 月期通期業績予想及び普通株式の期末配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 修正内容

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	15,500	13,000	15 円 82 銭
今回修正予想 (B)	26,200	18,500	23 円 30 銭
増減額 (B - A)	+ 10,700	+ 5,500	
増減率 (%)	+ 69.0	+ 42.3	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 25 年 3 月期)	5,257	△5,318	△9 円 34 銭

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	12,000	14 円 46 銭
今回修正予想 (B)	23,200	16,500	20 円 58 銭
増減額 (B - A)	+ 10,200	+ 4,500	
増減率 (%)	+ 78.4	+ 37.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	2,303	△6,204	△10 円 54 銭

(2) 修正の理由

平成 26 年 3 月期通期の個別業績予想につきましては、与信関係費用が前回予想を下回る見込みであること等から、経常利益は前回予想比 102 億円増益の 232 億円、また、復興特別法人税の廃止の影響等を含め税金費用が前回予想を上回る見込みであることから、当期純利益は前回予想比 45 億円増益の 165 億円となる見込みであります。

連結業績予想の修正は、主に個別業績予想の上方修正によるものであります。

(ご参考) 個別業績予想 (平成 26 年 3 月期)

(単位: 百万円)

	前回発表予想 ①	今回修正予想 ②	増減額 ②-①
コア業務純益	25,000	25,300	+ 300
経常利益	13,000	23,200	+ 10,200
当期純利益	12,000	16,500	+ 4,500
与信関係費用	△10,000	△2,500	+ 7,500

2. 配当予想の修正について (普通株式)

(1) 修正内容

基準日	普通株式 1 株当たりの年間配当金 (円)				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 25 年 11 月 11 日公表)	—	0.00	—	3.00	3.00
今回修正予想 (普通配当)				4.00	4.00
(記念配当)				(3.50)	(3.50)
				(0.50)	(0.50)
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 25 年 3 月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

(2) 修正の理由

当行は、銀行業の公共性に鑑み、経営の健全性の確保の観点から内部留保の充実に留意しつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。

上記方針の下、平成 26 年 3 月期通期は経常利益、当期純利益の業績予想が前回予想を上回ることから、今般、平成 26 年 3 月期末の普通株式 1 株当たりの配当予想を、前回予想 (平成 25 年 11 月 11 日公表) から 50 銭増額いたします。

また、平成 26 年 2 月に、関西アーバン銀行に商号を変更して 10 周年を迎えましたことから、これを記念して、期末の普通株式の配当において 1 株当たり 50 銭の記念配当を実施する予定です。

これらにより、期末の普通株式 1 株当たりの配当金は、普通配当 3 円 50 銭と合わせて、4 円となる予定であります。

なお、第一種優先株式の配当予想 (年間 18 円 77 銭 (期末 18 円 77 銭)) につきましては、変更ございません。

本件につきましては、平成 26 年 6 月 27 日開催予定の当行第 151 期定時株主総会に付議する予定です。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上